

診療看護技術管理学 長期履修（修業年限3年）の場合

		標準の履修モデルの場合	特定行為と合わせて学修する場合
1 年次	前学期	<p>(共通科目) 看護管理・政策論 (専門科目) 診療看護技術管理学講義Ⅰ／診療看護技術管理方法Ⅰ</p> <p>講義及び方法Ⅰは、金、土曜日に開講されるゼミ形式の授業です。診療看護技術管理学に求められる概念や理論、研究方法を学びます。</p>	<p>(共通科目) 看護管理・政策論 (専門科目) 診療看護技術管理学講義Ⅰ／診療看護技術管理方法Ⅰ</p> <p>講義及び方法Ⅰは、金、土曜日に開講されるゼミ形式の授業です。方法Ⅰは、特定行為研修の選択した区分別科目の科目Ⅰ（授業・演習科目）の受講を含み展開します。</p>
	後学期	<p>(共通科目) 地域調査法 (専門科目) 診療看護技術管理学講義Ⅱ／診療看護技術管理方法Ⅱ／診療看護技術管理学演習</p> <p>講義及び方法Ⅱは、金、土曜日に開講されるゼミ形式の授業です。講義Ⅰでは、看護技術の提供体制の現状と課題、ならびに、看護技術の基礎教育、継続教育における最新知識を学びます。方法Ⅱでは、安全な看護技術の提供、ならびに看護提供体制整備に関する教育計画の立案を含み展開されます。演習では、看護技術または看護提供体制に関するフィールド演習として、方法Ⅱで立案した教育計画の実施、研究活動の事前調査や研究目的の焦点化を図ります。</p>	<p>(共通科目) 地域調査法 (専門科目) 診療看護技術管理学講義Ⅱ／診療看護技術管理方法Ⅱ／診療看護技術管理学演習</p> <p>講義及び方法Ⅱは、金、土曜日に開講されるゼミ形式の授業です。方法Ⅱは、特定行為研修の選択した区分別科目の科目Ⅱ（実習科目）の受講をフィールド演習として展開し、研究目的の焦点化に活かします。演習は、7月～9月頃に概ね1週間程度フィールドワークを行うか、特定行為研修の選択した区分別科目の手技試験を含む研修教育をフィールド演習として行います。また、この準備とまとめのためにゼミ形式の授業を金曜日に行います。</p>
2 年次	前学期	<p>(共通科目) 地域医療論 (専門科目) 診療看護技術管理学特別演習</p> <p>特別演習は、自らの関心領域の国内外の文献検討を行い、研究計画の作成に活かします。また、この準備とまとめのためにゼミ形式の授業を金曜日に行います。</p>	<p>(共通科目) 地域医療論 (専門科目) 診療看護技術管理学特別演習</p> <p>特別演習は、自らの関心領域の国内外の文献検討を行い、研究計画の作成に活かします。また、この準備とまとめのためにゼミ形式の授業を金曜日に行います。</p>
	後学期	<p>(共通科目) 看護倫理 ○研究活動</p> <p>指導教授の指導を受けながら研究計画を立案し、必要な手続きや指導教員以外からも助言を得るプロセスを経て研究計画書を完成させ、研究活動を開始します。</p>	<p>(共通科目) 看護倫理 ○研究活動</p> <p>指導教授の指導を受けながら研究計画を立案し、必要な手続きや指導教員以外からも助言を得るプロセスを経て研究計画書を完成させ、研究活動を開始します。</p>
2 年次 (3 年目)	前学期	<p>○研究活動</p> <p>指導教授の個別指導を受けながら、研究活動を進めます。</p>	<p>○研究活動</p> <p>指導教授の個別指導を受けながら、研究活動を進めます。</p>
	後学期	<p>(専門科目) 地域看護管理学特別研究</p> <p>指導教授の個別指導を受けながら、修士論文を作成し、12月中旬に提出します。その後、1月下旬の学位論文審査（口頭試問）を受け合格すると、2月中旬に最終試験（論文発表会）があり、合格すると学位が授与されます。</p>	<p>(専門科目) 地域看護管理学特別研究</p> <p>指導教授の個別指導を受けながら、修士論文を作成し、12月中旬に提出します。その後、1月下旬の学位論文審査（口頭試問）を受け合格すると、2月中旬に最終試験（論文発表会）があり、合格すると学位が授与されます。</p>